

ロマンティック・Jブラームス(2)

<メンデルスゾーン to ブラームス No2>

ブラームスとロマン派作曲家たちの室内楽シリーズ

- お話し / メンデルスゾーンとブラームスについて その2
- メンデルスゾーン / 弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13
- J・ブラームス / ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25
《ジュピターカルテット》 Vn 植村太郎 Vn 佐橋まどか Va 原麻理子 Vc 宮田大
P 鈴木慎崇
- J・ブラームス / 二重協奏曲 ピアノトリオ版 イ短調 Op.102 ブラームス編
《ブラームストリオ 2007》 Vn 青木 調 Vc 林峰男 P 野田清隆

お話し 西原 稔 (桐朋学園大学教授 JBS 顧問)

林峰男 (音楽監督)



植村 佐橋 原 宮田



鈴木



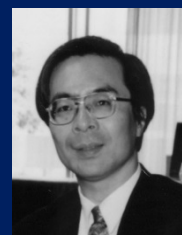
青木



野田



林



西原

2007年11月25日(日) 2pm

会場 青山ドイツ文化会館OAGホール 250席

チケット 全自由 一般¥4000 学生¥2500

後援 ドイツ連邦共和国大使館
ドイツ・ハンブルク国際ブラームス協会
アメリカブラームス協会 (ABS)

助成 財団法人 ロームミュージックファンデーション

チケット 東京文化会館 チケットサービス

お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



＜ジュピター弦楽四重奏団＞

●植村太郎 (Vn) Uemura Taro

4歳の頃より、母にヴァイオリンの手ほどきを受け菊里高校、桐朋学園大学を首席卒業。現在同大学研究科在籍中。小澤塾、室内楽勉強会、宮崎国際音楽祭、東京 A、など参加。第74回日本音楽コンクールヴァイオリン部門優勝。黒柳賞、レウカディア賞、鷲見賞、岩谷賞を受賞。内外のオーケストラと共演、リサイタル、室内楽などで活動している。これまで(故)久保田良作、立田あずさ、漆原朝子、原田幸一郎に師事。桐朋学園大学研究2年

●佐橋まどか (Vn) Sakitsu Madoka

4歳よりヴァイオリンを始める。ジュリアード音楽院プレカレッジ部門、桐朋学園大学にて学ぶ。米・アスペン音楽祭、サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトなどに参加。東京のオペラの森、サイトウ・キネン・オーケストラ、ソウルにて日韓交流ユースコンサートなどに出演。第55回全日本学生音楽コンクール高校の部入選。これまでに吉野薫、田中直子、加藤知子、堀正文の各氏に師事。桐朋学園大学研究科2年

●原麻理子 (Va) Hara Mariko

2005年4月よりヴィオラに転向。宮崎国際音楽祭、ヴィオラスペース等に出演。サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会、チェルボ夏季アカデミーに参加。2006年はヴェルビエ音楽祭アカデミー、武生国際アカデミーに参加、また国際ブラームスコンクール・ヴィオラ部門にて第2位、併せてThe mayor of Portschach am Worthersee 賞を受賞。現在はジュネーブ在住、ヴィオラを今井信子氏に、室内楽をガボール・タカーチ＝ナジ氏に師事。桐朋学園大学卒、ジュネーブ音楽院在

●宮田大 (Vc) Miyata Dai

2002年第7回コンセル・マロニエ21弦楽器部門第1位。2004年第6回ピバホールチェロコンクール第1位。2005年第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。増沢賞、徳永賞、聴衆賞を受賞。若い人のためのサイトウ・キネンに参加、小澤オペラ塾 IV、V、JT アンサンブルシリーズ、プロジェクトQ、東京アンサンブル、ハギモト・ハルヒコ夢コンサート等に参加。チェロを倉田澄子氏に師事。室内楽を東京カルテット、原田幸一郎、加藤知子の各氏に師事。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース3年

●鈴木慎崇 (P) Suzuki Yoshitaka

札幌市生まれ。4歳よりピアノを始め、幼少よりさまざまなコンクールで入賞を果す。全日本学生音楽コンクール高校生の部、日本音楽コンクールにおいて、それぞれ第1位受賞。また「トッパンホールランチタイムコンサート」や「JT が育てるアンサンブルシリーズ」をはじめとする、多数の演奏会にアンサンブルピアニストとして出演するほか、「2004、2005 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」において公式伴奏者をつとめるなど、室内楽や伴奏にも力を注いでいる。現在ピアノを角野裕氏に、室内楽を岡田伸夫氏に師事。

＜ブラームストリオ2007＞

●青木調 (Vn) Aoki Shirabe

名古屋と静岡にて、佐々木はるる、石田なをみ、矢口由美子、近藤フミ子の各氏に師事。1985年全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位。その後東京に移り、桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリストディプロマコース修了。2004年桐朋学園大学院大学修了。この間、堀正文、原田幸一郎、藤原浜雄の各氏に師事。1992年日本音楽コンクール第2位、併せて黒柳賞受賞。1995年日本国際音楽コンクール第2位。1996年文化庁助成による日演連主催のリサイタルを行う。以後東京、名古屋などにてリサイタルを行う他、NHK・FMリサイタルに出演。2005年10月、N響に入団。

●野田清隆 (P) Noda Kiyotaka JBS会員

12歳でピアノを始める。東京藝術大学、大学院修士課程を経て、博士後期課程修了。第4回かながわ音楽コンクール、第64回日本音楽コンクールで第1位受賞。ソロ、コンチェルト、室内楽、歌曲の演奏会に出演するほか、20世紀音楽によるコンサートのプロデュースも手掛ける。ブラームス作品と20世紀音楽を組み合わせた一連のリサイタルを行い、博士号を取得。浜口奈々、K.シルデ、植田克己の各氏に師事。現在、東京藝術大学ピアノ科、ならびに室内楽科講師。

●林峰男 (Vc) Hayashi Mineo JBS音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、ジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベカール国際コンクールで1位。ロシアを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントルー音楽院、ロザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をカルテルで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価された。また昨年2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子、P伊藤恵と「ショスタコヴィッチ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。日本ブラームス協会では音楽監督として1995～2003年「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラームス没後100周年記念を東京文化会館で、1998年協会25周年を津田ホールで、2003年の協会30周年では大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演にも貢献する。現在国際スギキョード音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

●西原稔 (お話し) Nishihara Minoru JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽之友社)、「ブラームス」(音楽之友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。